

科目名：看護技術論Ⅵ		必	1 単位 (45 時間)
(Fundamentals of Nursing Skill Ⅵ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義・演習 主担当教員：飯塚雅子（実務経験 看護師 6 年 7 か月：実務経験から、診療補助技術は対象者への身体侵襲度が高く手技の正確さが求められることに加え、患者の不安や気持ちを考えることができる授業を行っていく。） 担当教員：北村容子、横正奈緒美			
学修目的	1 年次での日常生活支援技術の学習を経て、診療補助業務に関わる技術を学修する。その中で、日進月歩の最新医療技術に対応できる能力を養い、さらには身体侵襲度が高くより安全性が要求される技術も学んでいく。 CP2, 3, 4 関連する。 科目No. KNz-204		
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①ヒューマンエラーによる事故の発生要因がわかり、事故防止の基本について述べることができる。 ②おもな医療事故（転倒・転落、チューブ・ライントラブル、誤薬、放射線・薬剤曝露）の定義と要因、対策について述べることができる。 ③感染成立の条件および感染防止の基本について述べることができる。 ④感染予防における看護師の責務と役割について述べることができる。 ⑤さまざまな感染予防行動を原理・原則に沿って実施できる。 ⑥電法の目的および方法がわかり、原理・原則に沿って実施できる。 ⑦排便・浣腸および導尿の目的・方法がわかり、原理・原則に沿って実施できる。		
授業概要	診療に伴う対象の苦痛や不安を理解し、安心して診療を受けられるような知識や技術を学ぶ。呼吸・循環を整える技術、与薬、救命救急処置、症状・生体機能管理、診察・検査・処置の介助、看取りの援助を学ぶ。		
評価方法	筆記試験 80% 課題 20%（①飯塚、②北村、③横正、④北村 各 5 点×4 課題） 詳細は授業内で提示する。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院		

	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 任 和子ほか、医学書院			
参考書	必要時、提示する。			
ファイアー- 連絡先	飯塚雅子	3号館3階研究室	iizuka.masako@kdu.ac.jp	不在時はメールでお願いします
	北村容子	3号館3階共同研究室	y.kitamura@kdu.ac.jp	同上
	横正奈緒美	3号館3階共同研究室	yokosho@kdu.ac.jp	同上

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/) 限目	呼吸・循環を整える技術 (1) ①酸素吸入療法の意義と援助方法がわかる。 ②酸素の供給方法がわかる。 ③吸入の種類と目的がわかる。 ④吸入に必要な器具と吸入法がわかる。 課題①：内容、提出日時は授業内で提示する (5 点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第7章 A、B、D を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]酸素療法の原則、酸素ボンベ、酸素流量計、鼻腔カニューラ、酸素マスク、ネブライザー、呼吸・循環のアセスメント、酸素吸入の適応と方法	講義 ○飯塚
2 (/) 限目	呼吸・循環を整える技術 (2) ①気道分泌物の排出の援助がわかる。 ②吸引に必要な器具と方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第7章 B、D を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]体位ドレナージ、口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、呼吸を楽にする姿勢と呼吸法、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、排痰法の適応と方法	講義 / グ ループワ ーク ○飯塚
3 (/) A：限目 B：限目	呼吸・循環を整える技術 (3) 【一時吸引】 ①口腔・鼻腔内吸引の基本を習得する。	[予習]作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 [復習]講義・演習内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]口腔・鼻腔内吸引	演習 ○飯塚 北村 横正
4 (/) 限目	与薬の技術 (1) ①薬物療法の目的と薬物の体内動態がわかる。 ②薬物療法における看護師の役割がわかる。 ③与薬における法的根拠がわかる。 ④薬剤の種類がわかる。 ⑤様々な与薬の方法と留意点がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章 A～G を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]与薬方法、薬効・副作用 (有害事象) の観察、与薬における看護師の役割、薬剤の種類と取扱い方法、与薬方法と効果の観察	講義 / グ ループワ ーク ○飯塚
5 (/) 限目	与薬の技術 (2) ①注射に関する基本的事項がわかる。 課題②：内容、提出日時は授業内で提示する (5 点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章 H-①を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]注射、注射方法、注射筒、注射針、6R、注射の準備	講義 / グ ループワ ーク ○北村

6 (/) 限目	与薬の技術 (3) ①各種注射法に共通する実施方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章 H-②を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード] 皮下注射、皮内注射、筋肉内注射	講義 / グループワーク ○北村
7・8 (/) A：限目 B：限目	与薬の技術 (4) (5) 【注射器の取り扱い、薬液の吸い上げ、筋肉内注射】 ①安全に注射器の取り扱いができる。 ②安全に薬液を吸い上げる方法を習得する。 ③皮下注射の基本を習得する。 ④筋肉内注射の基本を習得する。 予習演習 ①輸液ラインの取扱いを知る。	[予習]作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 [復習] 講義・演習内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]注射針、注射器、アンプル、バイアル、処方せん、6R、皮下注射、筋肉内注射、穿刺部位・角度、輸液ライン	演習 / グループワーク ○北村 飯塚 横正
9 (/) 限目	与薬の技術 (6) ①各種注射法に共通する実施方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章 H-②③を読み、分らない言葉を調べる。 [復習] 講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]静脈内注射、ワンショット、点滴静脈内注射、輸液の副作用(有害事象)の観察、刺入部の観察	講義 ○横正
10 (/) 限目	与薬の技術 (7) ①各種注射法に共通する実施方法がわかる。 ②点滴静脈内注射の基本を習得する。 ③輸液ポンプとシリンジポンプの取り扱い方がわかる。 課題③：内容、提出日時は授業内で提示する(5点)	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章 H-②を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]輸液速度の調整、自然滴下、輸液ポンプ、シリンジポンプ、混注、三方活栓、中心静脈カテーテル留置の介助、カテーテル関連血流感染	講義 / グループワーク ○横正
11 (/) 限目	与薬の技術 (8) ①輸血の目的・種類がわかる。 ②輸血の副作用(有害事象)がわかる。 ③安全な輸血の実施方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第9章Iを読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]自己血輸血、同種血輸血、輸血伝票、交差適合試験、即時型副作用、遅延型副作用	講義 ○飯塚
12 (/) 限目	救命救急処置技術 ①急変時における初期対応の流れとトリアージがわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第10章を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する	講義 ○飯塚

	②心肺蘇生法と一次救命処置の基礎知識がわかる。 ③止血法の種類とその方法がわかる。	動画を視聴する。 [キーワード]気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、直流除細動器、自動体外式除細動器（AED）、止血法、トリアージ、生命の危機的状況のアセスメント、一次救命処置（BLS）	
13（/） 限目	症状・生体機能管理技術（１）（２） ①症状・生体機能管理の目的と看護師の役割がわかる。 ②血液検査の目的と種類がわかる。 ③静脈血採血の具体的方法がわかる。 ④注射に必要な器具とその取り扱い方がわかる。 課題④：内容、提出日時は授業内で提示する（５点）	[予習]基礎看護技術Ⅱ第 11 章 A、B-①を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]検体検査（血液）、生体機能、血液検査、静脈血採血、真空採血管、翼状針、駆血、穿刺部位・角度、採血後の観察内容、採血に関する有害事象	講義 ○北村
14（/） 限目	症状・生体機能管理技術（３） ①排泄物および体液の検査の種類と方法、取り扱いの留意点がわかる ②ME 機器の取り扱いとモニタリング方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第 11 章 B-②③④、C を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]検体検査（尿、便、喀痰、胸水、腹水、髄液）、モニタリング機器の取り扱い（心電図モニター、パルスオキシメーター、血管留置カテーテルモニター）	講義 ○北村
15（/） 限目	診察・検査・処置の介助技術 ①診察の介助の目的がわかる。 ②各種検査・処置時における看護と留意点がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第 12 章 A、B を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]診察・検査時の看護師の役割、X 線撮影、CT、MRI、内視鏡検査、超音波、心電図、核医学	講義 ○横正
16（/） 限目	死の看取りの援助 ①死にゆく人と家族の心理が理解でき、どのようなケアが必要かわかる。 ②看護における葬送儀礼の意味がわかる。 ③死亡による身体変化が理解でき、死後の処置の方法がわかる。	[予習]基礎看護技術Ⅱ第 15 章を読み、分らない言葉を調べる。 [復習]講義内容を振り返り、関連する動画を視聴する。 [キーワード]終末期の患者のケア、終末期の家族のケア、死亡後のケア	講義 ○横正